

5

実施した上で制作したとしても自然の波の多様性から該構造体1の上下動あるいは傾きを完全に抑止できない恐れがあるので該構造体1の波の影響を受けない底部に複数の上下動抑制板3を水平に固定し、水中での動きに対する水の抵抗を利用して該構造体1の上下動あるいは傾きを抑制するものである。

また、該構造体1の高さ、長さ、及び波の進行方向に対する幅あるいは該構造体1を第2図または第3図の方法で支持した上下動抑制型防波堤の数及びその組合せは消波を目的とする波の大きさ及び消波を目的とする対象の場所の特質あるいは面積によつて経済性を考慮して決定されることは当該分野の技術者にとっては当然のことである。

また、上下動抑制型防波堤を構成する波抑制板2および上下動抑制板3は該構造体1に水平に固定されていること及び該構造体1や支柱4、構造物6に代表される支持

6

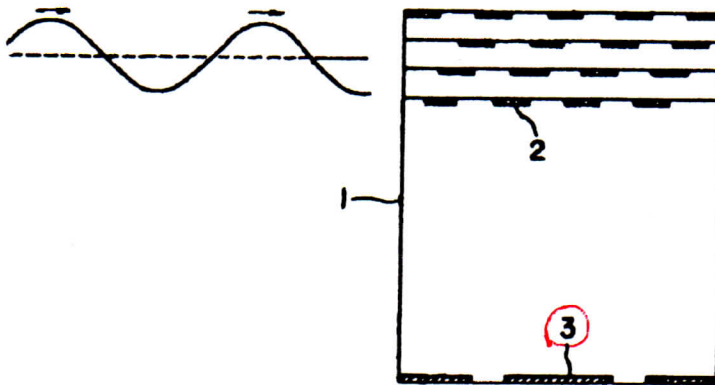
装置は材質・構造を選定することによつて充分な強度を保つ一方、流水の抵抗を比較的に受けにくい形に容易に制作できることから上下動抑制型防波堤は自然の水の循環や潮流を実質的に妨げることがない。

この発明は以上説明したように従来の防波堤が持つ欠点、すなわち大規模な土木工事を要すること、および自然の水の循環や潮流を妨げ防波堤内の水質低下や潮流の変化による浸食等をもたらす弊害を有すること、および上記の如き大規模な土木工事を要せず二次的な弊害もない浮防波堤では防波の効果が小さいこと等の欠点を悉く解決する効果を有するものである。

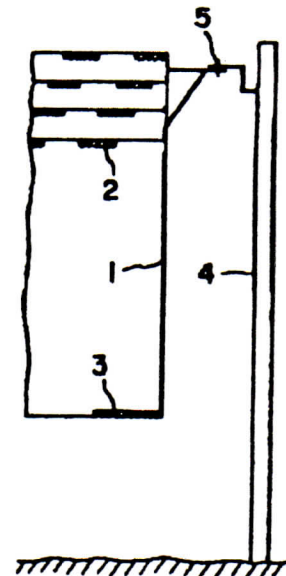
【図面の簡単な説明】

第1図は上下動抑制型防波堤の主要部分を構成する剛接合の軸組構造体に波抑制板及び上下動抑制板を固定した縦断面図、第2図ないし第3図は剛接合の軸組構造体の支持手段を示す縦断面図である。

【第1図】



【第2図】



【第3図】

